

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012 年 10 月 21 日

派遣者氏名（専門分野）	林 葉子 （ 女性史 ）
-------------	--------------

派遣期間	2012 年 7 月 20 日 ～ 2012 年 9 月 20 日
------	-----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
イギリス	ロンドン	Wellcome Library

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

本図書館は、医学史関係の図書を中心とする専門図書館で、女性史関連でも、特に身体に関わるテーマの資料が豊富にある。交通の便の良い場所に位置しており（Euston）、大英図書館から徒歩でも移動できる。

本図書館は、Wellcome Collection の博物館と同じ建物の中にあり、その建物への入館の際には、簡単な手荷物検査が行われる。入館は無料であった。

図書館へ入館するには、専用の図書館カードが必要である（ただし短時間の見学だけであれば、受付の人は、カードなしでの入館を認めていた）。カード発行の手続きの際に必要な申請書類のフォームは、インターネットのホームページからダウンロードできるので、事前に用意して記入しておくことが可能である。派遣者の場合、その記入済みの書類を受付で提出し、身分証を提示した後、すぐにカードが発行された（身分証・住所証明書類については、ホームページに詳細な説明がある）。カードには顔写真が添付されるが、その写真は、受付前に設置してあるカメラを用い、その場で撮影される。

図書館カードの取得後は、そのカードを機械に通して入館する。入館前に、図書館の入り口の横にあるロッカーに手荷物を預ける必要がある。別の階にクロークルームもある。ノートパソコンやカメラ、筆記用具は、館内に持ち込むことができた。

図書館内は広く、開架図書が多い。閲覧用の机も数多く設置されている。図書館内には飲料水と紙コップが用意されたコーナーがあり、トイレも館内にあるので、長時間連続で図書館内での調査を行いたい場合に便利である。

派遣者が今回の派遣期間中に利用した他の図書館と比較し、本図書館の特徴的な点の一つは、開架図書の豊富さにあるといえる。また、その開架の本棚は、細分化されたテーマごとに、わかりやすく複数のスペースに分けて配置されており、それぞれのテーマごとの資料数が多いため、読むべき文献を絞り込めていないような場合には特に、本図書館を訪ねて自分の関心のあるテーマの書棚の場所へ行くことによって、そのテーマの先行研究を効率よく調べることができるので便利である。また、開架図書の中には古い書籍も含まれており、それらを閲覧請求の手続きなしに気軽に手にとることができるので、ある特定の研究分野から、その周辺領域へと、関心を広げていきやすい。

図書の目録は、インターネットで閲覧可能である。また、ネット上で見られる資料もある。